



「一年の計」

青山学院 院長

山北宣久

「あなたの目の前にあるまっさらな時間、525,600分をどう生かしますか」という問の前に立つ。それが新年です。

時を与え給う神からの問いを、襟を正して受け止め、生きているというより、生かされてある時々を、畏れと感謝をもって年頭にあって歩み出させていただく私たちです。

ヤコブの手紙4章15節にはこうあります。

「あなたがたはこう言うべきです。『主のみこころなら、私たちは生きていてこのことを、または、あのことをしよう』」

これは昔から「ヤコブの条件」と言い、ラテン語のD・Vで表現しています。Deo Volente（神のみこころ）ということなのです。

「一年の計は元年にあり」と言われます。私たちは、今年こそああするぞ、この年はこうするのだと計画を立てます。

これが間違っているというわけではありませんが、赦されて生きている私たちであるなら「主のみこころなら、私たちは生きていてこの

ことを、または、あのことをしよう」と謙虚な姿勢を、まず、持たねばならないという自覚が大切だということを強調したいのです。

そして、神が主イエスと共にいたもうて、私たちが執り成し、支え、導いて下さるのですから、心低くし、しかし、大胆に歩み行こう！と決意して共に前進していこうとするのでしよう。

東京プレーヤーセンターの新年はこのような想い、姿勢をもってスタートし、様々な計画を実践させていくのだと思います。

「新しい年の入口に我らは再び立つ。一年を終えるまでにいかなる喜び、励ましが、また、いかなる悲しみ、苦しみが訪れるか我らは知らない。だが、我らはこのことに安らぐ。神のみが知り給う知恵で、我らの上になされることは最善であるということ」(トーマス・ウィーキング)

共に主にある一年の計を押し進めましょう。

TPCの活動目的

- (1) 超教派として活動する。
- (2) 毎日、礼拝を捧げ、祈り会を行う。
- (3) 閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える。
- (4) 伝道、学びなどのために貸室を提供する。